

令和 2 年 度

山形県病院事業会計決算審査意見書

山形県監査委員

監委第77号

令和3年9月17日

山形県知事 吉 村 美栄子 殿

山形県監査委員 森 谷 仙 一 郎

山形県監査委員 星 川 純 一

山形県監査委員 松 田 義 彦

山形県監査委員 海老名 信 乃

令和2年度山形県病院事業会計決算の審査意見について

地方公営企業法第30条第2項の規定により、令和3年6月28日付けで審査に付された令和2年度山形県病院事業会計決算について審査した結果、別紙のとおり意見書を提出します。

目 次

第1	審査の概要	1
第2	審査の結果及び意見	
1	審査の結果	1
2	審査の意見	4
第3	決算の概要	
1	事業の概要	6
2	決算報告書	10
3	損益計算書	12
4	貸借対照表	14
5	キャッシュ・フロー計算書	15
6	病院別の状況	16
付	表	
1	経営成績の推移	19
2	経営分析主要比率の推移	20
3	病院別の経営状況	21
4	病院別及び本局の決算状況	22
5	経営状況の推移	23
6	決算状況の推移	25
7	過年度医業未収金残高の年度別推移	31

(注) 1 千円単位で表示したものは、単位未満を原則として四捨五入してあるので、総数と内訳の合計は一致しない場合がある。

2 各表の中の符号の用法は、次による。

－：皆無又は該当数字のないもの

0：表章の単位に満たないもの

令和2年度山形県病院事業会計決算審査意見書

第1 審査の概要

1 審査の基準

山形県監査委員監査基準（令和2年山形県監査委員訓令第1号）に準拠して実施

2 審査の種類

決算審査

3 審査の対象

山形県病院事業会計

4 審査の着眼点

- (1) 当該関係書類が事業の経営成績及び財政状態を適正に表示しているか
- (2) 事業が経済性を発揮し、その本来の目的である公共の福祉を増進するよう運営されているか

5 審査の実施内容

審査に付された関係書類について、上記4に掲げた着眼点により、調査照合するとともに、関係職員から説明を聴取し、併せて別途実施した定期監査及び例月出納検査の結果を踏まえて審査を行った。

第2 審査の結果及び意見

1 審査の結果

上記第1により審査した限りにおいて、決算関係書類は、地方公営企業法その他の関係法令に準拠し、企業会計の原則に基づき作成され、事業の経営成績及び財政状態を適正に表示していると認められた。

また、事業は、その目的に沿って運営されていると認められた。

財務に関する事務については、一部に是正、改善を要するものが見られたものの、総体として適正に行われていると認められた。

病院事業の経営状況などについては、次のとおりである。

(1) 病院利用者数

入院患者延数は 344,621 人で、前年度に比較して 54,421 人 13.6%減少し

ている。これは、新型コロナウイルス感染症（以下「新型コロナ」という。）対応や専用病床の設置及び病床再編による病床数の減少並びに常勤医師が減少したことなどによるものである。

外来患者延数は 494,975 人で、前年度に比較して 75,390 人 13.2%減少している。これは、新型コロナ対応や感染拡大による患者の受診控え、常勤医師が減少したことなどによるものである。

(2) 建設改良費の状況

病院の建設や改修、医療機器等の購入に要する建設改良費は 15 億 5,606 万 7 千円で、前年度に比較して 3,906 万円増加している。

その主なものは、資産工事費が 4 億 3,345 万 5 千円で、新庄病院の改築整備基本及び実施設計 1 億 9,190 万 1 千円、中央病院の患者サポートセンター整備等工事 5,495 万 4 千円などとなっている。資産購入費は 11 億 65 万 2 千円で、新庄病院の全身用血管造影装置が 1 億 6,445 万円、中央病院の情報通信ネットワーク機器が 7,855 万 2 千円などとなっている。

(3) 損益の状況

総収益は 412 億 4,046 万 4 千円で、前年度に比較して 11 億 5,072 万 9 千円 2.9%増加している。これは、医業収益において新型コロナ専用病床の確保等により入院・外来収益等が 30 億 5,932 万 3 千円 9.7%減少したものの、医業外収益では新型コロナ専用病床の確保にかかる国からの補助金等により 33 億 2,526 万 9 千円 40.4%増加したこと、及び特別利益が 8 億 8,478 万 3 千円 234.2%増加したことなどによるものである。

総費用は 396 億 6,825 万 5 千円で、前年度に比較して 5 億 2,996 万 5 千円 1.3%減少している。これは、システム保守料の増加や建物及び機械備品の増加に伴い経費や減価償却費が増加したものの、職員数の減少や患者数の減少に伴い給与費や材料費が減少したことなどによるものである。

この結果、当年度純損益は、前年度に比較して 16 億 8,069 万 4 千円改善し、15 億 7,220 万 9 千円の黒字となり、経常損益は、9 億 5,969 万 6 千円の黒字となった。

未処理欠損金は、前年度末の 413 億 5,059 万円から、当年度末は 397 億 7,838 万 1 千円に減少している。

(4) 病院事業中期経営計画の進捗状況

病院事業局では、県立病院を巡る経営環境の変化に対応するため、事業運営の基本計画である「病院事業中期経営計画（以下「中期経営計画」という。）」において、病院ごとに達成指標を設定し、経営改善に向けた取組を推進している。監査対象年度の実績を見ると、多くの項目で指標を上回っている状況にある。

○中期経営計画における目標と実績

〔「経営の改善」の主な達成指標〕（令和2年度）

区分		中央病院	新庄病院	河北病院	こころの医療センター
平均在院日数	実績	10.3日	14.7日	16.6日	147.7日
	指標	10.8日	14.9日	20.6日	106.6日
病床利用率	実績	67.6%	75.7%	66.9%	94.3%
	指標	86.2%	89.9%	84.1%	91.9%
入院診療単価	実績	81,864円	47,064円	40,985円	23,890円
	指標	74,486円	45,937円	39,199円	24,606円
外来診療単価	実績	21,665円	13,249円	11,914円	8,759円
	指標	19,792円	11,867円	11,720円	9,276円
退院時請求の実施率	実績	67.0%	88.7%	66.6%	81.7%
	指標	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

〔収支計画〕

(単位：百万円)

項目		令和2年度			令和3年度
		指標	実績	比較	指標
経常収益 (A)		39,679	39,978	299	42,024
経常費用 (B)		40,010	39,018	△992	41,550
経常損益 (A - B)		△331	960	1,291	474
内訳	中央病院	210	1,658	1,448	1,135
	新庄病院	△42	223	265	△55
	河北病院	△405	△648	△243	△182
	こころの医療センター	△35	11	46	27
	本局	△59	△284	△225	△451

2 審査の意見

県立病院は、本県における高度医療、専門医療及び三次救急医療などを担うとともに、地域の基幹病院として、質の高い安全・安心な医療サービスを提供している。

特に、新型コロナへの対応という喫緊の課題に対応するため、いち早く専門外来や専用病床を設置して患者の受入れを行ってきたほか、山形県PCR自主検査センターを設置し、感染に対する県民の不安解消と社会経済活動の再開を支援してきたところである。

今後も、各病院の役割と機能の明確化を図り、持続的・安定的な経営基盤の確保に努めるとともに、以下の対応を進めることにより、県民に信頼される県立病院として、引き続き県民医療を守り支える使命を果たすよう期待する。

(1) 財務基盤の強化と財務事務の適正化

令和2年度決算では、純損益が前年度に比較して16億8,069万4千円改善し、事業活動の結果を反映する経常損益は、9億5,969万6千円の経常利益となった。しかしながら、未処理欠損金は397億7,838万1千円となっており、依然として厳しい経営状態にある。

平成29年度決算において、資金不足比率（流動負債が流動資産を上回る場合に、その差額を事業規模と比較した割合）が10%を超えたことを受けて策定した「資金不足等解消計画」に基づき、経営改善に取り組んでいるところであるが、新型コロナによる影響を踏まえ必要な見直しを行いながら、新たな課題にも対応しつつ、病院事業局一丸となって資金不足の解消に向けて取り組む必要がある。

特に、この資金不足の大きな要因となっている河北病院の経営改善については、「河北病院経営健全化計画」に基づき、地域の医療ニーズを踏まえた病床の再編など、経営基盤の強化を進めているが、さらに、地域の関係者等とも調整を図りながら、持続的な経営が可能となる有効な対策を着実に推進することが必要である。

また、財務基盤の強化等の観点から、病院事業管理者をはじめ各病院長など管理職員による的確なマネジメントの下、全ての職員が現下の経営状況を認識し、危機意識とコスト意識を共有することが重要である。その上で、診療報酬の加算取得による収益の確保、医薬品等の調達効率化による費用の縮減などを具体的に進めるとともに、個人医業未収金対策などに引き続き取り組む必要がある。

定期監査の結果を見ると、病院事業局では、ここ数年、是正、改善を要する指摘事項等が減少傾向にあり、改善が認められるところである。各病院においては、財務事務を主に処理する事務部門と他の部門が緊密に連携するとともに、本局による各病院への指導等も行いながら、適正な事務処理が徹底されるよう取り組まれない。

(2) 計画的な施設等の整備

病院機能の向上と県民に信頼されるサービスの提供を実現する観点から、最上二次医療圏唯一の基幹病院である新庄病院の改築整備について、平成30年3月に策定した「山形県立新庄病院改築整備基本計画」に基づき、令和5年度の開院に向け、着実に推進することが必要である。

(3) 医師や専門的な人材の確保・育成

医師の確保を図るため、臨床研修体制の充実や医師の負担軽減のための取組を継続的に進めるとともに、山形大学医学部や県の関係部局等と連携を強化しながら、医師の安定的な確保に努める必要がある。

医療スタッフについては、職種ごとの人材育成の課題を踏まえ、研修体系の充実・強化を図るほか、資格取得を計画的に推進することが必要である。

また、病院経営の専門性の高まりや急激な社会環境の変化などに適切に対応するため、医療・保険制度や、診療報酬制度、医療情報システムなど病院の管理運営にかかわる専門的な知識等を持った人材の確保や育成に取り組む必要がある。

近年、医療情報部門や病院経営部門への職員の採用・育成等を進めているところであり、今後も人材の確保・育成を継続されたい。

(3) 新型コロナへの対応

新型コロナに対しては、専門外来や専用病床、県PCR自主検査センターを設置し、県内における感染拡大防止に努めてきたところである。

全国的にみても、いまだ収束が見通せず、予断を許さない状況の中、今後も、受診控えによる患者数の減少も続くと予測されるが、質の高い安全・安心な医療サービスを提供するよう、関係機関等と緊密に連携を図りながら運営にあたられたい。

第3 決算の概要

1 事業の概要

(1) 病院の利用状況

入院患者延数は 344,621 人で、前年度に比較して 54,421 人 13.6%減少している。

病院別に見ると、こころの医療センターで 1,923 人増加しているものの、中央病院で 38,624 人、新庄病院で 13,936 人、河北病院で 3,784 人それぞれ減少している。これは、新型コロナ対応や受診控え、常勤医師の減少などによるものである。

年度末の病床数は 1,278 床で、前年度に比較して 26 床減少している。病床利用率は 74.2%で、前年度に比較して 7.8 ポイント減少している。

外来患者延数は 494,975 人で、前年度に比較して 75,390 人 13.2%減少している。

病院別に見ると、中央病院で 34,474 人、新庄病院で 19,669 人、河北病院で 18,853 人、こころの医療センターで 2,394 人それぞれ減少している。これは、新型コロナ対応や受診控え、常勤医師の減少などによるものである。

人間ドック延利用者数は 1,470 人で、前年度に比較して 1,172 人 44.4%減少している。これは、新型コロナ対応により受入れを一時休止したことによるものである。

区 分	令和2年度 (A)	令和元年度 (B)	前年度に 対する増減 (A-B)	前年度に 対する割合 (A/B×100)%
入院患者延数 (人)	344,621	399,042	△54,421	86.4
病床数 (床)	1,278	1,304	△26	98.0
病床利用率 (%)	74.2	82.0	△7.8ポイント	90.5
外来患者延数 (人)	494,975	570,365	△75,390	86.8
人間ドック延利用者数 (人)	1,470	2,642	△1,172	55.6
延利用者数 (人)	841,066	972,049	△130,983	86.5

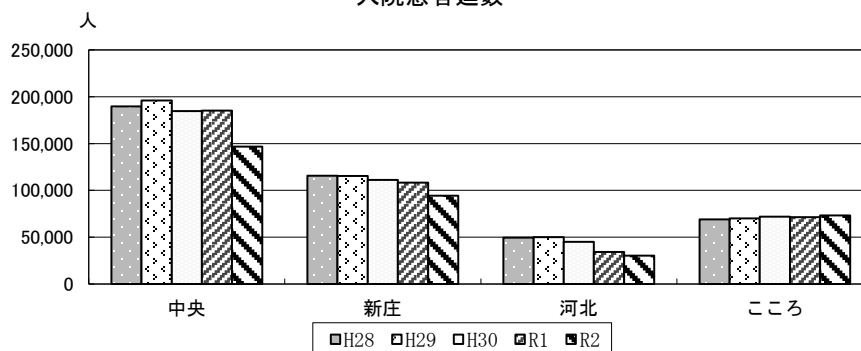
病院別の状況

区 分	中央病院	新庄病院	河北病院	こころの医療センター	合 計
入院患者延数 (人)	146,611	94,262	30,423	73,325	344,621
前年度に対する増減	△38,624	△13,936	△3,784	1,923	△54,421
病床数 (床)	594	341	130	213	1,278
病床利用率 (%)	67.6	75.7	66.9	94.3	74.2
平均在院日数 (日)	10.3	14.7	16.6	147.7	12.1(15.2)
外来患者延数 (人)	237,136	161,733	64,634	31,472	494,975
前年度に対する増減	△34,474	△19,669	△18,853	△2,394	△75,390
人間ドック延利用者数 (人)	1,254	209	7	-	1,470
延利用者数 (人)	385,001	256,204	95,064	104,797	841,066

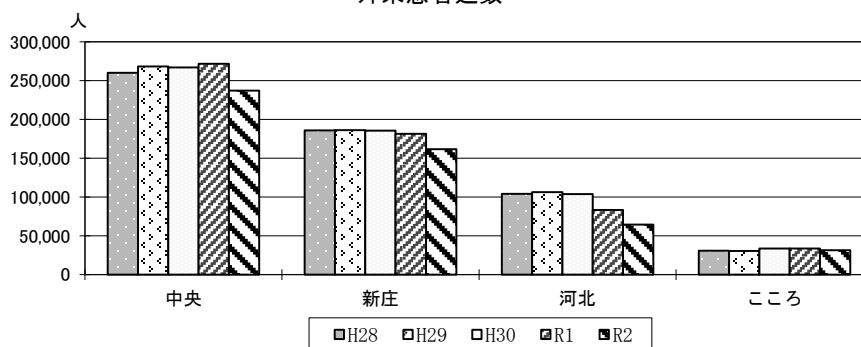
(注) 1 平均在院日数の合計欄は、こころの医療センターを除く3病院の平均で、()内は全病院の平均である。

2 延利用者数(人) = 入院患者延数(人) + 外来患者延数(人) + 人間ドック延利用者数(人)

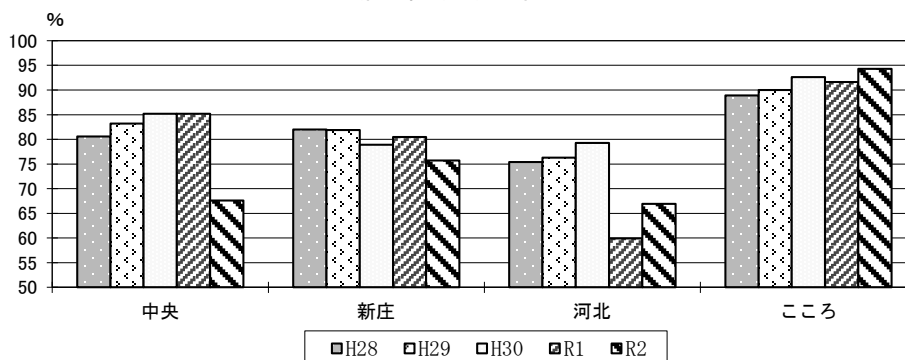
入院患者延数



外来患者延数



病床利用率



(2) 建設事業等の概要

ア 資産工事費の内訳

(単位：千円)

病院名	工事等名	金額
中央病院	患者サポートセンター整備等工事【令和元～2年度債務負担】	54,954
	医療ガス設備吸引用ポンプ他更新工事	11,418
	外来化学療法センター拡張工事実施設計	2,948
	上記工事に係る事務費	10
新庄病院	改築整備 基本及び実施設計【平成30～令和2年度債務負担】	191,901
	改築整備 造成（第一期）工事	95,502
	改築整備 工事監理【令和2～5年度債務負担】	9,052
	改築整備 運用計画策定【令和2～5年度債務負担】	8,652
	改築整備 造成工事技術補助	2,971
	改築整備 敷地造成工事監理（第一期）	1,495
	改築整備 敷地造成積算（第二期）	1,386
	上記工事に係る事務費	8,048
	上記工事に係る人件費	34,462
	公舎給水設備更新工事	2,475
	患者搬送用通路改修工事	2,475
	患者搬送用出入口設置工事	1,430
河北病院	配管更新工事実施設計	3,295
	空調設備中央監視装置更新工事実施設計	973
	上記工事に係る事務費	8
計		433,455

- (注) 1 中央病院の事務費には、建設中利子（1千円）を含む。
2 新庄病院の事務費には、建設中利子（4,989千円）を含む。
3 債務負担行為の場合は、令和2年度の執行額を記載している。

イ 資産購入費の内訳

(ア) 医療機器等整備事業、医師研究調査事業及びドクターヘリ搭載医療機器整備事業

(単位：千円)

病 院 名	購入台数	金 額	主な購入機器
中 央 病 院	156	417,028	情報通信ネットワーク機器(一式、78,552)、 X線撮影システム(2台、74,778)
新 庄 病 院	35	260,963	全身用血管造影装置 (1台、164,450)
河 北 病 院	17	50,140	腹腔鏡手術システムモニター関係(一式、 20,988)
こころの医療センター	23	9,763	医療観察法システム端末・ネットワーク機器 (一式、4,337)
本 局	1	4,290	財務会計システムサーバ
計	232	742,184	

(イ) 新型コロナ関連

(単位：千円)

病 院 名	購入台数	金 額	主な購入機器
中 央 病 院	139	282,430	対外式膜型人工肺(1台、9,900)、人工呼吸器 (7台、46,331)
新 庄 病 院	32	54,123	人工呼吸器(2台、13,046)
河 北 病 院	6	13,957	遺伝子解析装置(2台、5,258)
こころの医療センター	3	7,958	免疫発光測定装置(1台、5,764)
計	180	358,468	

ウ リース資産購入費の内訳

(単位：千円)

病 院 名	金 額	主な購入機器
中央病院	16,287	輸液ポンプ等
河北病院	1,917	電話交換機
こころの医療センター	3,756	電話交換機
計	21,960	

2 決算報告書

(1) 収益的収入及び支出

ア 収入

収益的収入は、予算額 403 億 7,434 万 7 千円に対し決算額は 413 億 585 万 6,712 円で、9 億 3,150 万 9,712 円増加している。これは、医業収益の入院収益が見込みを上回ったことなどによるものである。

(単位：円)

区 分	予 算 額	決 算 額	予算額に比べ 決算額の増減	決算額のうち仮受消 費税及び地方消費税
病 院 事 業 収 益	40,374,347,000	41,305,856,712	931,509,712	65,392,573
医 業 収 益	27,865,794,000	28,491,558,915	625,764,915	61,664,180
医 業 外 収 益	11,263,076,000	11,550,930,416	287,854,416	2,880,175
特 別 利 益	1,245,477,000	1,263,367,381	17,890,381	848,218

イ 支出

収益的支出は、予算額 405 億 9,140 万 8 千円に対し決算額は 397 億 2,595 万 9,224 円で、不用額が 8 億 6,544 万 8,776 円となっている。

不用額は、医業費用のうち、給与費（各手当ほか）及び経費が見込みを下回ったことなどによるものである。

(単位：円)

区 分	予 算 額	決 算 額	翌年度 繰越額	不 用 額	決算額のうち仮払消 費税及び地方消費税
病 院 事 業 費 用	40,591,408,000	39,725,959,224	-	865,448,776	858,901,866
医 業 費 用	38,907,425,000	38,114,487,170	-	792,937,830	858,791,762
医 業 外 費 用	1,013,665,000	961,355,605	-	52,309,395	-
特 別 損 失	668,318,000	650,116,449	-	18,201,551	110,104
予 備 費	2,000,000	-	-	2,000,000	-

(2) 資本的収入及び支出

ア 収入

資本的収入は、予算額 36 億 7,504 万円に対し決算額は 34 億 6,144 万 8,542 円で、2 億 1,359 万 1,458 円減少している。これは、施設整備工事や医療機器等整備事業において入札請差が生じたことに伴い、企業債の発行が減少したことなどによるものである。

(単位：円)

区 分	予 算 額	決 算 額	予算額に比べ 決算額の増減	備 考
病院事業資本的収入	3,675,040,000	3,461,448,542	△ 213,591,458	
企 業 債	1,298,800,000	1,086,100,000	△ 212,700,000	
出 資 金	107,442,000	107,442,000	-	
負 担 金	1,894,236,000	1,894,236,000	-	
固定資産売却代金	11,986,000	12,012,460	26,460	
その他資本的収入	362,576,000	361,658,082	△ 917,918	

イ 支出

資本的支出は、予算額 52 億 3,694 万 3 千円に対し決算額は 50 億 265 万 2,639 円で、翌年度への繰越額が 1 億 3,035 万 9 千円、不用額が 1 億 393 万 1,361 円となっている。

不用額は、施設整備工事や医療機器等整備事業等において入札請差が生じたことなどにより、建設改良費が減少したことなどによるものである。

(単位：円)

区 分	予 算 額	決 算 額	翌年度 繰越額	不 用 額	決算額のうち仮払消 費税及び地方消費税
病院事業資本的支出	5,236,943,000	5,002,652,639	130,359,000	103,931,361	858,901,866
建 設 改 良 費	1,790,356,000	1,556,066,842	130,359,000	103,930,158	858,901,866
企 業 債 償 還 金	3,446,587,000	3,446,585,797	-	1,203	-

資本的収入額（翌年度へ繰り越される支出の財源に充当する額 6 万 3,000 円を除く。）が資本的支出額に不足する額 15 億 4,126 万 7,097 円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 229 万 3,448 円及び過年度分損益勘定留保資金 15 億 3,897 万 3,649 円で補填している。

3 損益計算書

(1) 収 益

総収益は 412 億 4,046 万 4,239 円で、前年度に比較して 11 億 5,072 万 9,168 円 2.9%増加している。これは、医業収益において新型コロナ専用病床の確保等により入院・外来収益等が 30 億 5,932 万 3,037 円 9.7%減少したものの、医業外収益では新型コロナ専用病床の確保にかかる国からの補助金等により 33 億 2,526 万 8,893 円 40.4%増加したこと、特別利益が 8 億 8,478 万 3,312 円 234.2%増加したことなどによるものである。

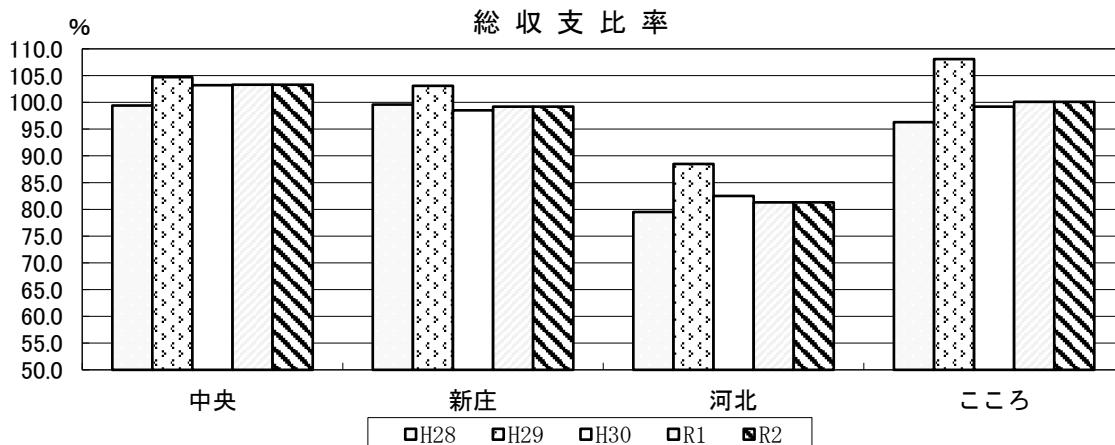
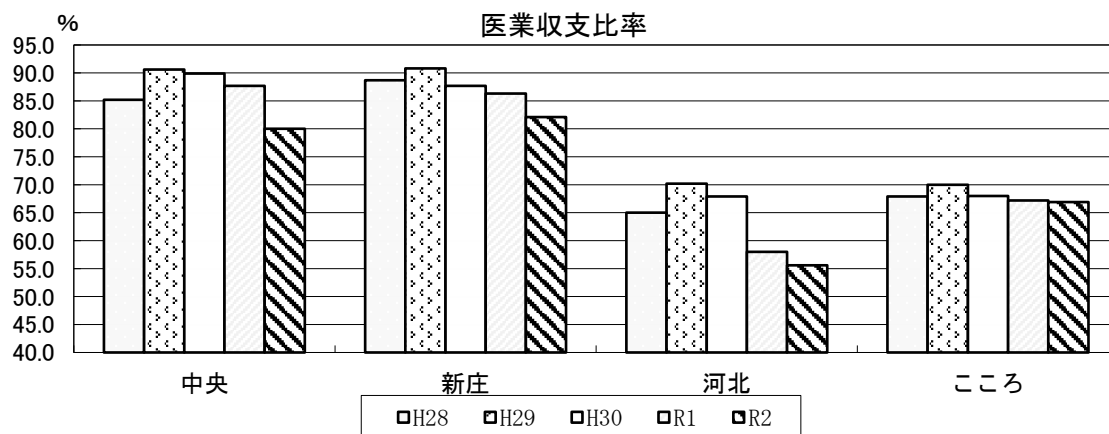
(2) 費 用

総費用は 396 億 6,825 万 5,339 円で、前年度に比較して 5 億 2,996 万 4,988 円 1.3%減少している。これは、システム保守料の増加や建物及び機械備品の増加に伴い経費や減価償却費が増加したものの、職員数の減少や患者数の減少に伴い給与費や材料費が減少したことなどによるものである。

(3) 損 益

総収益 412 億 4,046 万 4,239 円に対し、総費用は 396 億 6,825 万 5,339 円となり、15 億 7,220 万 8,900 円の純利益が生じている。

この結果、当年度未処理欠損金は、繰越欠損金 413 億 5,059 万 339 円から当年度純利益額を減じ 397 億 7,838 万 1,439 円となっている。



(単位：円、%)

区 分	令和2年度	令和元年度	増 減	増減率
総 収 益	41,240,464,239	40,089,735,071	1,150,729,168	2.9
医 業 収 益	28,429,894,735	31,489,217,772	△3,059,323,037	△9.7
入 院 収 益	19,437,092,939	21,614,031,445	△2,176,938,506	△10.1
外 来 収 益	8,325,973,216	9,019,433,616	△693,460,400	△7.7
そ の 他 医 業 収 益	666,828,580	855,752,711	△188,924,131	△22.1
医 業 外 収 益	11,548,050,341	8,222,781,448	3,325,268,893	40.4
負 担 金 交 付 金	6,111,400,000	6,279,305,000	△167,905,000	△2.7
そ の 他	5,436,650,341	1,943,476,448	3,493,173,893	179.7
特 別 利 益	1,262,519,163	377,735,851	884,783,312	234.2
総 費 用	39,668,255,339	40,198,220,327	△529,964,988	△1.3
医 業 費 用	37,255,695,408	38,388,633,094	△1,132,937,686	△3.0
給 与 費	20,995,062,794	21,512,005,672	△516,942,878	△2.4
材 料 費	7,926,956,445	8,674,281,993	△747,325,548	△8.6
薬 品 費	4,599,731,120	5,019,028,677	△419,297,557	△8.4
診 療 材 料 費	3,108,301,681	3,406,814,690	△298,513,009	△8.8
給 食 材 料 費 医 療 消 耗 備 品 費	218,923,644	248,438,626	△29,514,982	△11.9
経 費	5,553,117,157	5,438,347,151	114,770,006	2.1
減 価 償 却 費	2,497,149,028	2,404,728,042	92,420,986	3.8
そ の 他	283,409,984	359,270,236	△75,860,252	△21.1
医 業 外 費 用	1,762,553,586	1,766,898,823	△4,345,237	△0.2
支 払 利 息 及 び 企 業 債 取 扱 諸 費	327,582,328	355,946,541	△28,364,213	△8.0
企 業 債 利 息	327,209,116	355,285,824	△28,076,708	△7.9
そ の 他	373,212	660,717	△287,505	△43.5
そ の 他	1,434,971,258	1,410,952,282	24,018,976	1.7
特 別 損 失	650,006,345	42,688,410	607,317,935	1,422.7
医 業 損 益	△8,825,800,673	△6,899,415,322	△1,926,385,351	27.9
経 常 損 益	959,696,082	△443,532,697	1,403,228,779	△316.4
当 年 度 純 損 益	1,572,208,900	△108,485,256	1,680,694,156	△1,549.2
前 年 度 繰 越 欠 損 金	41,350,590,339	41,242,105,083	108,485,256	0.3
当 年 度 未 処 理 欠 損 金	39,778,381,439	41,350,590,339	△1,572,208,900	△3.8

4 貸借対照表

(1) 資 産

資産合計は 395 億 6,953 万 180 円で、前年度に比較して 1 億 199 万 6,526 円 0.3%増加している。これは、未収金の増加等により、流動資産が増加したことなどによるものである。

(2) 負 債

負債合計は 552 億 9,828 万 7,493 円で、前年度に比較して 15 億 7,765 万 4,374 円 2.8%減少している。これは、一時借入により流動負債が増加したものの、企業債の減少等により固定負債が減少したことなどによるものである。

(3) 資 本

資本合計はマイナス 157 億 2,875 万 7,313 円で、前年度に比較して 16 億 7,965 万 900 円 9.6%増加している。

(単位：円、%)

区 分	令和2年度	令和元年度	増 減	増減率
資 産 合 計	39,569,530,180	39,467,533,654	101,996,526	0.3
固 定 資 産	32,285,822,041	33,420,260,717	△1,134,438,676	△3.4
有 形 固 定 資 産	30,877,861,860	32,009,765,383	△1,131,903,523	△3.5
無 形 固 定 資 産	11,184,124	11,184,124	-	-
投 資 そ の 他 の 資 産	1,396,776,057	1,399,311,210	△2,535,153	△0.2
流 動 資 産	7,283,708,139	6,047,272,937	1,236,435,202	20.4
現 金 預 金	355,819,627	440,086,944	△84,267,317	△19.1
未 収 金	6,849,789,535	5,517,477,030	1,332,312,505	24.1
貸 倒 引 当 金	△29,445,707	△35,562,518	6,116,811	17.2
貯 蔵 品	107,525,784	125,252,581	△17,726,797	△14.2
そ の 他	18,900	18,900	-	-
負 債 資 本 合 計	39,569,530,180	39,467,533,654	101,996,526	0.3
負 債 合 計	55,298,287,493	56,875,941,867	△1,577,654,374	△2.8
固 定 負 債	36,543,362,036	39,074,893,343	△2,531,531,307	△6.5
企 業 債	23,529,269,007	25,857,752,273	△2,328,483,266	△9.0
他 会 計 借 入 金	1,134,291,000	1,134,291,000	-	-
リ ー ス 債 務	33,446,886	9,450,649	23,996,237	253.9
引 当 金	11,846,355,143	12,073,399,421	△227,044,278	△1.9
流 動 負 債	15,186,129,105	14,376,770,619	809,358,486	5.6
一 時 借 入 金	6,600,000,000	5,600,000,000	1,000,000,000	17.9
企 業 債	3,564,583,266	3,446,585,797	117,997,469	3.4
リ ー ス 債 務	13,869,613	16,959,008	△3,089,395	△18.2
未 払 金	3,359,454,522	3,738,099,360	△378,644,838	△10.1
預 り 金	229,761,704	251,438,454	△21,676,750	△8.6
引 当 金	1,412,460,000	1,317,688,000	94,772,000	7.2
そ の 他 流 動 負 債	6,000,000	6,000,000	-	-
繰 延 収 益	3,568,796,352	3,424,277,905	144,518,447	4.2
資 本 合 計	△15,728,757,313	△17,408,408,213	1,679,650,900	9.6
資 本 金	23,970,185,829	23,862,743,829	107,442,000	0.5
自 己 資 本 金	23,970,185,829	23,862,743,829	107,442,000	0.5
剰 余 金	△39,698,943,142	△41,271,152,042	1,572,208,900	3.8
資 本 剰 余 金	79,438,297	79,438,297	-	-
利 益 剰 余 金	△39,778,381,439	△41,350,590,339	1,572,208,900	3.8

5 キャッシュ・フロー計算書

キャッシュ・フロー計算書は、次のとおりである。

令和2年度山形県病院事業キャッシュ・フロー計算書

(令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)

(単位：円)

1 業務活動によるキャッシュ・フロー	
当年度純利益 (△当年度純損失)	1,572,208,900
減価償却費	2,497,149,028
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△15,812,445
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△227,044,278
賞与引当金の増減額 (△は減少)	94,772,000
長期前受金戻入額	△1,522,952,300
受取利息及び受取配当金	△24,706
支払利息及び企業債取扱諸費	327,582,328
有形固定資産売却損益 (△は益)	△8,853,359
未収金の増減額 (△は増加)	△1,322,616,871
未払金の増減額 (△は減少)	△378,644,838
たな卸資産の増減額 (△は増加)	17,726,797
預り金の増減額 (△は減少)	△21,676,750
資産減耗費 (資金移動を伴わないもの)	64,470,181
長期前払消費税額償却	136,585,143
前払費用の増減額 (△は増加)	0
その他	△589,521,235
小計	623,347,595
受取利息及び受取配当金	24,706
支払利息及び企業債取扱諸費	△327,582,328
業務活動によるキャッシュ・フロー	295,789,973
2 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△1,556,066,842
有形固定資産の売却による収入	20,865,819
国庫補助金等による収入	36,169,932
一般会計からの繰入金による収入	2,001,678,000
その他	327,781,598
投資活動によるキャッシュ・フロー	830,428,507
3 財務活動によるキャッシュ・フロー	
一時借入れによる収入	15,600,000,000
一時借入金の返済による支出	△14,600,000,000
建設改良費等の財源に充てるための企業債による収入	1,086,100,000
建設改良費等の財源に充てるための企業債の償還による支出	△3,446,585,797
その他の企業債による収入	150,000,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,210,485,797
資金増加額 (又は減少額)	△84,267,317
資金期首残高	440,086,944
資金期末残高	355,819,627

6 病院別の状況

(1) 中央病院

がん・生活習慣病センター及び救命救急センターを付置し、県全域を診療圏とする三次医療機関及び三次救急医療機関として、本県の高度医療、専門医療の中核病院及び高度急性期病院としての役割を担っている。

入院患者延数は 146,611 人で、前年度に比較して 38,624 人 20.9%減少しており、病床利用率は 67.6%で前年度に比較して 17.6 ポイント低下している。

外来患者延数は 237,136 人で、前年度に比較して 34,474 人 12.7%減少している。患者紹介率は 77.0%で、前年度に比較して 2.3 ポイント上昇している。

医業収益は 175 億 3,544 万 5,730 円で、前年度に比較して 22 億 5,279 万 4,523 円 11.4%減少している。これは、新型コロナ対応や受診控え等により入院及び外来収益が減少したことなどによるものである。

医業費用は 219 億 3,153 万 28 円で、前年度に比較して 6 億 2,937 万 7,331 円 2.8%減少している。これは、患者数の減少に伴い材料費が減少したことなどによるものである。

この結果、医業損益は 43 億 9,608 万 4,298 円の損失となり、前年度に比較して 16 億 2,341 万 7,192 円 58.6%拡大している。医業収支比率は 80.0%で、前年度に比較して 7.7 ポイント悪化している。

損益の状況は 22 億 1,736 万 9,713 円の当年度純利益となり、前年度に比較して 14 億 2,163 万 2,943 円改善している。

(2) 新庄病院

最上地域唯一の基幹病院として、地域医療機関との連携による地域完結型医療の提供が求められており、医療機能の重点化と二次医療圏を越えた広域的な診療体制の構築や、地域の医療需要に応える総合医療機関としての十分な機能を持つ新病院の開院に向けて、移転改築整備を進めている。

入院患者延数は 94,262 人で、前年度に比較して 13,936 人 12.9%減少しており、病床利用率は 75.7%と 4.8 ポイント低下している。

外来患者延数は 161,733 人で、前年度に比較して 19,669 人 10.8%減少している。患者紹介率は 41.7%で、前年度に比較して 4.1 ポイント上昇している。

医業収益は 68 億 116 万 100 円で、前年度に比較して 5 億 5,500 万 2,691 円 7.5%減少している。これは、新型コロナ対応や受診控え等により入院及び外来収益が減少したことなどによるものである。

医業費用は 82 億 8,414 万 1,714 円で、前年度に比較して 2 億 4,073 万 3,364 円 2.8%減少している。これは、病棟再編に伴う職員数の減により給与費が減少したこと、患者数の減少により材料費が減少したことなどによるものである。

この結果、医業損益は 14 億 8,298 万 1,614 円の損失となり、前年度に比較して 3 億 1,426 万 9,327 円 26.9%拡大している。医業収支比率は 82.1%で、前年度に比較して 4.2 ポイント悪化している。

損益の状況は 2 億 2,513 万 9,678 円の当年度純利益となり、前年度に比較して 2 億 9,950 万 9,097 円損益が改善している。

(3) 河北病院

西村山地域における基幹病院として、中央病院や地域の医療機関と連携を強化するとともに、緩和ケア病棟及び地域包括ケア病棟を設置するなど、救急医療体制や緩和ケア医療の充実及び在宅支援の強化を図りながら、地域や住民により身近な病院を目指した取組を行っている。

入院患者延数は 30,423 人で、前年度に比較して 3,784 人 11.1%減少しており、病床利用率は 66.9%と 7.0 ポイント上昇している。

外来患者延数は 64,634 人で、前年度に比較して 18,853 人 22.6%減少している。患者紹介率は 38.9%で、前年度に比較して 3.9 ポイント上昇している。

医業収益は 20 億 5,360 万 3,055 円で、前年度に比較して 2 億 8,224 万 9,577 円 12.1%減少している。これは、受診控えや常勤医師数の減少等に伴い患者数が減少したことにより入院及び外来収益が減少したことなどによるものである。

医業費用は 36 億 9,385 万 5,562 円で、前年度に比較して 3 億 3,157 万 9,844 円 8.2%減少している。これは、病棟再編に伴う職員数の減により給与費が減少したこと、患者数の減少により材料費が減少したことなどによるものである。

この結果、医業損益は 16 億 4,025 万 2,507 円の損失となり、前年度に比較して 4,933 万 267 円 2.9%縮小している。医業収支比率は 55.6%で、前年度に比較して 2.4 ポイント悪化している。

損益の状況は 6 億 263 万 7,395 円の当年度純損失となり、前年度に比較して 1 億 7,171 万 8,923 円改善している。

(4) こころの医療センター

本県の精神科医療の基幹病院として、多様化する精神医療ニーズに対応するため、地域の医療機関や介護・福祉施設との連携を図りながら、患者の早期社会復帰・地域移行の促進を図るとともに、ストレスを起因とするうつ病などのメンタルヘルスや、不登校、発達障がいなどの児童・思春期の心のケアなどの診療体制の充実を図る取組を行っている。

入院患者延数は 73,325 人で、前年度に比較して 1,923 人 2.7%増加しており、病床利用率は 94.3%と 2.7ポイント上昇している。

外来患者延数は 31,472 人で、前年度に比較して 2,394 人 7.1%減少している。患者紹介率は 42.4%で、前年度に比較して 1.1ポイント上昇している。

医業収益は 20 億 3,968 万 5,850 円で、前年度に比較して 3,072 万 3,754 円 1.5%増加している。これは、新型コロナ対応等により外来収益は減少したものの、平均在院日数の増等により入院収益が増加したことなどによるものである。

医業費用は 30 億 4,767 万 5,490 円で、前年度に比較して 5,854 万 6,429 円 2.0%増加している。これは、退職給付費の増等により給与費が増加したことなどによるものである。

この結果、医業損益は 10 億 798 万 9,640 円の損失となり、前年度に比較して 2,782 万 2,675 円 2.8%拡大している。医業収支比率は 66.9%で、前年度に比較して 0.3ポイント悪化している。

損益の状況は 915 万 9,306 円の当年度純利益となり、前年度に比較して 522 万 4,365 円改善している。

付 表

1 経営成績の推移

(単位：円)

区 分		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
総 収 益	金額	37,205,131,255	39,240,387,402	38,206,477,217	40,089,735,071	41,240,464,239
	指数	100.0	105.5	102.7	107.8	110.8
医 業 収 益	金額	30,167,414,642	31,401,783,101	31,226,783,803	31,489,217,772	28,429,894,735
	指数	100.0	104.1	103.5	104.4	94.2
医 業 外 収 益	金額	6,674,634,480	6,480,604,249	6,484,771,723	8,222,781,448	11,548,050,341
	指数	100.0	97.1	97.2	123.2	173.0
うち 一般会計 繰入金	金額	4,497,197,000	4,751,051,000	4,803,337,000	6,279,305,000	6,111,400,000
	指数	100.0	105.6	106.8	139.6	135.9
特 別 利 益	金額	363,082,133	1,358,000,052	494,921,691	377,735,851	1,262,519,163
	指数	100.0	374.0	136.3	104.0	347.7
総 費 用	金額	38,751,699,874	38,307,233,095	38,694,124,425	40,198,220,327	39,668,255,339
	指数	100.0	98.9	99.9	103.7	102.4
医 業 費 用	金額	37,042,717,031	36,570,553,629	37,032,680,879	38,388,633,094	37,255,695,408
	指数	100.0	98.7	99.9	103.6	100.6
うち 減 価 償 却 費	金額	2,646,857,754	2,156,179,512	2,061,259,979	2,404,728,042	2,497,149,028
	指数	100.0	81.5	77.9	90.9	94.3
医 業 外 費 用	金額	1,665,564,761	1,634,995,359	1,603,967,156	1,766,898,823	1,762,553,586
	指数	100.0	98.2	96.3	106.1	105.8
うち 企 業 債 利 息	金額	440,090,801	408,358,883	380,834,591	355,285,824	327,209,116
	指数	100.0	92.8	86.5	80.7	74.4
特 別 損 失	金額	43,418,082	101,684,107	57,476,390	42,688,410	650,006,345
	指数	100.0	234.2	132.4	98.3	1,497.1
当 年 度 純 損 益	金額	△1,546,568,619	933,154,307	△487,647,208	△108,485,256	1,572,208,900
	指数	100.0	△60.3	31.5	7.0	△101.7

(注) 指数は、平成28年度を100としたものである。

2 経営分析主要比率の推移

(単位：%)

区 分		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
総 収 支 比 率	全国	97.9	98.6	98.3	98.5	—
	山形	96.0	102.4	98.7	99.7	104.0
医 業 収 支 比 率	全国	82.0	82.0	81.7	81.9	—
	山形	81.4	85.9	84.3	82.0	76.3
自 己 資 本 構 成 比 率	全国	13.8	13.4	13.1	12.3	—
	山形	△46.3	△43.1	△43.0	△44.1	△39.7
流 動 比 率	全国	169.5	149.6	141.7	132.3	—
	山形	53.2	46.9	44.6	42.1	48.0
医 業 収 益 対 給 与 費 比 率	全国	60.6	60.2	59.8	59.1	—
	山形	63.7	61.1	62.5	63.4	72.6

(注) 1 全国の数値は、「地方公営企業年鑑」より抜粋したものである。

但し、医業収益には他会計からの繰入れは含まない。

2 給与費には、報酬・包括賃金（法定福利費を含む）及び児童手当は含まない。

3 自己資本構成比率＝（自己資本金＋剰余金）／（負債＋資本）

4 流動比率＝流動資産／流動負債

3 病院別の経営状況

区 分	中央病院	新庄病院	河北病院	こころの 医療センター	合計(平均)
延利用者数 (人)	385,001	256,204	95,064	104,797	841,066
前年度に対する増減	△74,217	△33,665	△22,630	△471	△130,983
入院患者延数	146,611	94,262	30,423	73,325	344,621
前年度に対する増減	△38,624	△13,936	△3,784	1,923	△54,421
外来患者延数	237,136	161,733	64,634	31,472	494,975
前年度に対する増減	△34,474	△19,669	△18,853	△2,394	△75,390
人間ドック延利用者数	1,254	209	7	-	1,470
前年度に対する増減	△1,119	△60	7	-	△1,172
入院1日平均利用者数 (人)	401.7	258.3	83.4	200.9	944.2
前年度に対する増減	△104.4	△37.4	△10.1	5.8	△146.1
病床数 (床)	594	341	130	213	1,278
前年度に対する増減	0	0	△26	0	△26
病床利用率 (%)	67.6	75.7	66.9	94.3	74.2
前年度に対する増減	△17.6	△4.8	7.0	2.7	△7.8
平均在院日数 (日)	10.3	14.7	16.6	147.7	12.1(15.2)
前年度に対する増減	△0.3	△0.3	0.6	16.8	△0.2(0.4)
外来1日平均利用者数 (人)	961.5	662.8	264.9	129.0	2,018.2
前年度に対する増減	△135.7	△83.7	△77.3	△10.4	△307.1
患者紹介率 (%)	77.0	41.7	38.9	42.4	-
前年度に対する増減	2.3	4.1	3.9	1.1	-
外来入院患者比率 (%)	161.7	171.6	212.5	42.9	143.6
前年度に対する増減	15.1	3.9	△31.6	△4.5	0.7
入院診療単価 (円)	81,864	47,064	40,985	23,890	56,401
前年度に対する増減	7,943	1,892	1,514	312	2,236
外来診療単価 (円)	21,665	13,249	11,914	8,759	16,821
前年度に対する増減	1,209	1,032	717	△467	1,008
過年度医業未収金期末残高 (円)	128,586,935	134,949,440	31,079,123	17,460,901	312,076,399
前年度に対する増減	△21,931,879	3,192,653	△87,144	494,005	△18,332,365
不納欠損額 (円)	3,988,859	52,050	-	-	4,040,909
前年度に対する増減	△1,974,835	△464,400	-	-	△2,439,235

(注) 1 病床利用率 (%) = 入院患者延数 / 年間稼動病床数 × 100

2 外来入院患者比率 (%) = 外来患者延数 / 入院患者延数 × 100

3 平均在院日数の合計欄は、こころの医療センターを除く3病院の平均で、()内は全病院の平均である。

4 不納欠損額は過年度医業収益に対するものである。

4 病院別及び本局の決算状況

(単位：円、%)

区 分	中央病院	新庄病院	河北病院	こころの 医療センター	本 局	合 計
総 収 益	25,782,868,737	8,941,568,012	3,294,964,820	3,191,124,465	29,938,205	41,240,464,239
前 年 度 値	24,650,431,590	8,717,440,762	3,376,112,559	3,108,200,396	237,549,764	40,089,735,071
医 業 収 益	17,535,445,730	6,801,160,100	2,053,603,055	2,039,685,850	-	28,429,894,735
入 院 収 益	12,002,133,704	4,436,306,509	1,246,884,426	1,751,768,300	-	19,437,092,939
外 来 収 益	5,137,495,383	2,142,762,945	770,040,815	275,674,073	-	8,325,973,216
他 医 業 収 益	395,816,643	222,090,646	36,677,814	12,243,477	-	666,828,580
医 業 外 収 益	7,300,658,287	1,977,814,069	1,118,102,814	1,132,856,473	18,618,698	11,548,050,341
うち他会計補助金	2,835,035,979	538,926,890	92,358,530	63,756,072	-	3,530,077,471
うち負担金交付金	3,385,709,000	1,066,693,000	783,656,000	857,328,000	18,014,000	6,111,400,000
特 別 利 益	946,764,720	162,593,843	123,258,951	18,582,142	11,319,507	1,262,519,163
総 費 用	23,565,499,024	8,716,428,334	3,897,602,215	3,181,965,159	306,760,607	39,668,255,339
前 年 度 値	23,854,694,820	8,791,810,181	4,150,468,877	3,104,265,455	296,980,994	40,198,220,327
医 業 費 用	21,931,530,028	8,284,141,714	3,693,855,562	3,047,675,490	298,492,614	37,255,695,408
給 与 費	11,390,454,281	4,858,946,027	2,189,188,439	2,296,424,904	260,049,143	20,995,062,794
材 料 費	5,833,094,865	1,559,500,222	328,780,028	202,262,780	3,318,550	7,926,956,445
うち薬品費	3,481,689,231	820,429,379	172,626,937	124,985,573	-	4,599,731,120
うち診療材料費	2,245,938,876	681,674,417	154,746,507	22,623,331	3,318,550	3,108,301,681
経 費	3,227,540,826	1,276,587,984	766,686,029	248,467,992	33,834,326	5,553,117,157
減 価 償 却 費	1,304,537,971	520,122,373	388,106,504	284,382,180	-	2,497,149,028
資 産 減 耗 費	43,100,421	25,718,778	4,422,602	867,903	424,215	74,533,919
研 究 研 修 費	132,801,664	43,266,330	16,671,960	15,269,731	866,380	208,876,065
医 業 外 費 用	1,246,630,023	271,157,771	125,629,355	114,613,607	4,522,830	1,762,553,586
支払利息及び 企業債取扱諸費	272,368,896	1,847,378	2,687,568	50,380,458	298,028	327,582,328
うち企業債利息	272,293,712	1,847,378	2,687,568	50,380,458	-	327,209,116
特 別 損 失	387,338,973	161,128,849	78,117,298	19,676,062	3,745,163	650,006,345
医 業 損 益	△4,396,084,298	△1,482,981,614	△1,640,252,507	△1,007,989,640	△298,492,614	△8,825,800,673
経 常 損 益	1,657,943,966	223,674,684	△647,779,048	10,253,226	△284,396,746	959,696,082
当 年 度 純 損 益	2,217,369,713	225,139,678	△602,637,395	9,159,306	△276,822,402	1,572,208,900
前 年 度 値	795,736,770	△74,369,419	△774,356,318	3,934,941	△59,431,230	△108,485,256
前年度繰越欠損金	14,113,169,320	8,010,745,176	12,906,970,765	2,796,438,333	3,523,266,745	41,350,590,339
当年度未処理欠損金	11,895,799,607	7,785,605,498	13,509,608,160	2,787,279,027	3,800,089,147	39,778,381,439
医 業 収 支 比 率	80.0	82.1	55.6	66.9	-	76.3
前 年 度 値	87.7	86.3	58.0	67.2	-	82.0
総 収 支 比 率	109.4	102.6	84.5	100.3	9.8	104.0
前 年 度 値	103.3	99.2	81.3	100.1	80.0	99.7
給 与 費 比 率	65.0	71.4	106.6	112.6	-	73.8
前 年 度 値	58.0	69.8	103.4	111.4	-	68.3

- (注) 1 医業損益＝医業収益－医業費用
 2 経常損益＝医業損益＋医業外収益－医業外費用
 3 純損益＝総収益－総費用
 4 医業収支比率(%)＝医業収益／医業費用×100
 5 総収支比率(%)＝総収益／総費用×100
 6 給与費比率(%)＝給与費／医業収益×100

5 経営状況の推移

病院事業の経営状況推移

区 分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年度 増 減	対前年度 増 減 率
延 利 用 者 数 (人)	1,005,810	972,049	841,066	△130,983	△13.5%
入 院 患 者 延 数	413,144	399,042	344,621	△54,421	△13.6%
外 来 患 者 延 数	589,955	570,365	494,975	△75,390	△13.2%
人間ドック延利用者数	2,711	2,642	1,470	△1,172	△44.4%
入院1日平均利用者数 (人)	1,131.9	1,090.3	944.2	△146.1	△13.4%
外来1日平均利用者数 (人)	2,392.0	2,325.3	2,018.2	△307.1	△13.2%
病 床 数 (床)	1,349	1,304	1,278	△26	△2.0%
病 床 利 用 率 (%)	83.9	82.0	74.2	△7.8ポイント	-
平 均 在 院 日 数 (日)	12.9<15.4>	12.3<14.8>	12.1<15.2>	△0.2 <0.4>	△1.7% <2.7%>
外 来 入 院 患 者 比 率 (%)	142.8	142.9	143.6	0.7ポイント	-
過 年 度 医 業 未 収 金 (円)	341,050,942	330,408,764	312,076,399	△18,332,365	△5.5%
不 納 欠 損 額 (円)	6,159,991	6,480,144	4,040,909	△2,439,235	△37.6%

(注) 1 病床利用率 (%) = 入院患者延数 / 年間稼動病床数 × 100

2 外来入院患者比率 (%) = 外来患者延数 / 入院患者延数 × 100

3 平均在院日数欄は、こころの医療センターを除く3病院の平均で、< >内は全病院の平均である。

中央病院の経営状況推移

区 分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年度 増 減	対前年度 増 減 率
延 利 用 者 数 (人)	453,963	459,218	385,001	△74,217	△16.2%
入 院 患 者 延 数	184,719	185,235	146,611	△38,624	△20.9%
外 来 患 者 延 数	266,861	271,610	237,136	△34,474	△12.7%
人間ドック延利用者数	2,383	2,373	1,254	△1,119	△47.2%
入院1日平均利用者数 (人)	506.1	506.1	401.7	△104.4	△20.6%
外来1日平均利用者数 (人)	1,073.2	1,097.2	961.5	△135.7	△12.4%
病 床 数 (床)	594	594	594	0	0.0%
病 床 利 用 率 (%)	85.2	85.2	67.6	△17.6ポイント	-
平 均 在 院 日 数 (日)	10.9	10.6	10.3	△0.3	△2.8%
外 来 入 院 患 者 比 率 (%)	144.5	146.6	161.7	15.1ポイント	-
過 年 度 医 業 未 収 金 (円)	159,574,409	150,518,814	128,586,935	△21,931,879	△14.6%
不 納 欠 損 額 (円)	4,290,151	5,963,694	3,988,859	△1,974,835	△33.1%

(注) 1 病床利用率 (%) = 入院患者延数 / 年間稼動病床数 × 100

2 外来入院患者比率 (%) = 外来患者延数 / 入院患者延数 × 100

新庄病院の経営状況推移

区 分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年度 増 減	対前年度 増 減 率
延 利 用 者 数 (人)	296,990	289,869	256,204	△33,665	△11.6%
入院患者延数	111,219	108,198	94,262	△13,936	△12.9%
外来患者延数	185,443	181,402	161,733	△19,669	△10.8%
人間ドック延利用者数	328	269	209	△60	△22.3%
入院1日平均利用者数 (人)	304.7	295.6	258.3	△37.3	△12.6%
外来1日平均利用者数 (人)	756.9	746.5	662.8	△83.7	△11.2%
病 床 数 (床)	386	341	341	0	0.0%
病 床 利 用 率 (%)	78.9	80.5	75.7	△4.8ポイント	-
平 均 在 院 日 数 (日)	15.6	15.0	14.7	△0.3	△2.0%
外 来 入 院 患 者 比 率 (%)	166.7	167.7	171.6	3.9ポイント	-
過 年 度 医 業 未 収 金 (円)	134,114,890	131,756,787	134,949,440	3,192,653	2.4%
不 納 欠 損 額 (円)	-	516,450	52,050	△464,400	△89.9%

(注) 1 病床利用率 (%) = 入院患者延数 / 年間稼動病床数 × 100

2 外来入院患者比率 (%) = 外来患者延数 / 入院患者延数 × 100

河北病院の経営状況推移

区 分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年度 増 減	対前年度 増 減 率
延 利 用 者 数 (人)	149,049	117,694	95,064	△22,630	△19.2%
入院患者延数	45,180	34,207	30,423	△3,784	△11.1%
外来患者延数	103,869	83,487	64,634	△18,853	△22.6%
人間ドック延利用者数	-	-	7	7	皆増
入院1日平均利用者数 (人)	123.8	93.5	83.4	△10.1	△10.8%
外来1日平均利用者数 (人)	424.0	342.2	264.9	△77.3	△22.6%
病 床 数 (床)	156	156	130	△26	△16.7%
病 床 利 用 率 (%)	79.3	59.9	66.9	7.0ポイント	-
平 均 在 院 日 数 (日)	17.7	16.0	16.6	0.6	3.8%
外 来 入 院 患 者 比 率 (%)	229.9	244.1	212.5	△31.6ポイント	-
過 年 度 医 業 未 収 金 (円)	31,493,842	31,166,267	31,079,123	△87,144	△0.3%
不 納 欠 損 額 (円)	-	-	-	-	-

(注) 1 病床利用率 (%) = 入院患者延数 / 年間稼動病床数 × 100

2 外来入院患者比率 (%) = 外来患者延数 / 入院患者延数 × 100

こころの医療センターの経営状況推移

区 分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年度 増 減	対前年度 増 減 率
延 利 用 者 数 (人)	105,808	105,268	104,797	△471	△0.4%
入院患者延数	72,026	71,402	73,325	1,923	2.7%
外来患者延数	33,782	33,866	31,472	△2,394	△7.1%
人間ドック延利用者数	-	-	-	-	-
入院1日平均利用者数 (人)	197.3	195.1	200.9	5.8	3.0%
外来1日平均利用者数 (人)	137.9	139.4	129.0	△10.4	△7.5%
病 床 数 (床)	213	213	213	-	-
病 床 利 用 率 (%)	92.6	91.6	94.3	2.7ポイント	-
平 均 在 院 日 数 (日)	117.4	130.9	147.7	16.8	12.8%
外 来 入 院 患 者 比 率 (%)	46.9	47.4	42.9	△4.5ポイント	-
過 年 度 医 業 未 収 金 (円)	15,867,801	16,966,896	17,460,901	494,005	2.9%
不 納 欠 損 額 (円)	1,869,840	-	-	-	-

(注) 1 病床利用率 (%) = 入院患者延数 / 年間稼動病床数 × 100

2 外来入院患者比率 (%) = 外来患者延数 / 入院患者延数 × 100

6 決算状況の推移

病院事業の決算状況推移

(単位：円、%)

区 分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年度 増減額	対前年度 増減率
総 収 益	38,206,477,217	40,089,735,071	41,240,464,239	1,150,729,168	2.9
医 業 収 益	31,226,783,803	31,489,217,772	28,429,894,735	△3,059,323,037	△9.7
入 院 収 益	21,702,654,497	21,614,031,445	19,437,092,939	△2,176,938,506	△10.1
外 来 収 益	8,617,624,601	9,019,433,616	8,325,973,216	△693,460,400	△7.7
他 医 業 収 益	906,504,705	855,752,711	666,828,580	△188,924,131	△22.1
医 業 外 収 益	6,484,771,723	8,222,781,448	11,548,050,341	3,325,268,893	40.4
うち 他会計補助金	66,623,073	216,850,681	3,530,077,471	3,313,226,790	1,527.9
うち 負担金交付金	4,803,337,000	6,279,305,000	6,111,400,000	△167,905,000	△2.7
特 別 利 益	494,921,691	377,735,851	1,262,519,163	884,783,312	234.2
総 費 用	38,694,124,425	40,198,220,327	39,668,255,339	△529,964,988	△1.3
医 業 費 用	37,032,680,879	38,388,633,094	37,255,695,408	△1,132,937,686	△3.0
給 与 費	20,848,521,561	21,512,005,672	20,995,062,794	△516,942,878	△2.4
材 料 費	8,092,738,710	8,674,281,993	7,926,956,445	△747,325,548	△8.6
うち 薬 品 費	4,604,443,074	5,019,028,677	4,599,731,120	△419,297,557	△8.4
うち 診療材料費	3,235,773,088	3,406,814,690	3,108,301,681	△298,513,009	△8.8
経 費	5,517,081,950	5,438,347,151	5,553,117,157	114,770,006	2.1
減 価 償 却 費	2,061,259,979	2,404,728,042	2,497,149,028	92,420,986	3.8
資 産 減 耗 費	250,271,613	105,606,652	74,533,919	△31,072,733	△29.4
研 究 研 修 費	262,807,066	253,663,584	208,876,065	△44,787,519	△17.7
医 業 外 費 用	1,603,967,156	1,766,898,823	1,762,553,586	△4,345,237	△0.2
支 払 利 息 及 び 企 業 債 取 扱 諸 費	381,784,273	355,946,541	327,582,328	△28,364,213	△8.0
うち 企業債利息	380,834,591	355,285,824	327,209,116	△28,076,708	△7.9
特 別 損 失	57,476,390	42,688,410	650,006,345	607,317,935	1,422.7
医 業 損 益	△5,805,897,076	△6,899,415,322	△8,825,800,673	△1,926,385,351	27.9
経 常 損 益	△925,092,509	△443,532,697	959,696,082	1,403,228,779	△316.4
当 年 度 純 損 益	△487,647,208	△108,485,256	1,572,208,900	1,680,694,156	△1,549.2
前 年 度 繰 越 欠 損 金	40,754,457,875	41,242,105,083	41,350,590,339	108,485,256	0.3
当 年 度 未 処 理 欠 損 金	41,242,105,083	41,350,590,339	39,778,381,439	△1,572,208,900	△3.8
医 業 収 支 比 率	84.3	82.0	76.3	△5.7ポイント	-
総 収 支 比 率	98.7	99.7	104.0	4.3ポイント	-
給 与 費 比 率	66.8	68.3	73.8	5.5ポイント	-

(注) 1 医業損益＝医業収益－医業費用

2 経常損益＝医業損益＋医業外収益－医業外費用

3 純損益＝総収益－総費用

4 医業収支比率＝医業収益／医業費用×100

5 総収支比率＝総収益／総費用×100

6 給与費比率＝給与費／医業収益×100

中央病院の決算状況推移

(単位：円、%)

区 分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年度 増減額	対前年度 増減率
総 収 益	22,956,326,237	24,650,431,590	25,782,868,737	1,132,437,147	4.6
医 業 収 益	18,924,403,200	19,788,240,253	17,535,445,730	△2,252,794,523	△11.4
入 院 収 益	13,305,282,957	13,692,828,503	12,002,133,704	△1,690,694,799	△12.3
外 来 収 益	5,065,688,395	5,555,980,846	5,137,495,383	△418,485,463	△7.5
他 医 業 収 益	553,431,848	539,430,904	395,816,643	△143,614,261	△26.6
医 業 外 収 益	3,560,349,219	4,501,028,644	7,300,658,287	2,799,629,643	62.2
うち 他会計補助金	40,803,778	55,143,151	2,835,035,979	2,779,892,828	5,041.2
うち 負担金交付金	2,677,282,000	3,466,284,000	3,385,709,000	△80,575,000	△2.3
特 別 利 益	471,573,818	361,162,693	946,764,720	585,602,027	162.1
総 費 用	22,245,228,010	23,854,694,820	23,565,499,024	△289,195,796	△1.2
医 業 費 用	21,061,496,854	22,560,907,359	21,931,530,028	△629,377,331	△2.8
給 与 費	10,730,597,271	11,474,169,516	11,390,454,281	△83,715,235	△0.7
材 料 費	5,878,339,000	6,451,539,958	5,833,094,865	△618,445,093	△9.6
うち 薬 品 費	3,407,542,058	3,808,177,009	3,481,689,231	△326,487,778	△8.6
うち 診療材料費	2,340,366,966	2,516,093,273	2,245,938,876	△270,154,397	△10.7
経 費	3,181,431,595	3,151,307,224	3,227,540,826	76,233,602	2.4
減 価 償 却 費	963,786,928	1,290,377,246	1,304,537,971	14,160,725	1.1
資 産 減 耗 費	150,196,764	38,726,658	43,100,421	4,373,763	11.3
研 究 研 修 費	157,145,296	154,786,757	132,801,664	△21,985,093	△14.2
医 業 外 費 用	1,147,722,845	1,272,117,807	1,246,630,023	△25,487,784	△2.0
支 払 利 息 及 び 企 業 債 取 扱 諸 費	322,016,570	298,329,168	272,368,896	△25,960,272	△8.7
うち 企業債利息	321,417,353	298,007,278	272,293,712	△25,713,566	△8.6
特 別 損 失	36,008,311	21,669,654	387,338,973	365,669,319	1,687.5
医 業 損 益	△2,137,093,654	△2,772,667,106	△4,396,084,298	△1,623,417,192	58.6
経 常 損 益	275,532,720	456,243,731	1,657,943,966	1,201,700,235	263.4
当 年 度 純 損 益	711,098,227	795,736,770	2,217,369,713	1,421,632,943	178.7
前 年 度 繰 越 欠 損 金	15,620,004,317	14,908,906,090	14,113,169,320	△795,736,770	△5.3
当 年 度 未 処 理 欠 損 金	14,908,906,090	14,113,169,320	11,895,799,607	△2,217,369,713	△15.7
医 業 収 支 比 率	89.9	87.7	80.0	△7.7ポイント	-
総 収 支 比 率	103.2	103.3	109.4	6.1ポイント	-
給 与 費 比 率	56.7	58.0	65.0	7.0ポイント	-

(注) 1 医業損益＝医業収益－医業費用

2 経常損益＝医業損益＋医業外収益－医業外費用

3 純損益＝総収益－総費用

4 医業収支比率＝医業収益／医業費用×100

5 総収支比率＝総収益／総費用×100

6 給与費比率＝給与費／医業収益×100

新庄病院の決算状況推移

(単位：円、%)

区 分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年度 増減額	対前年度 増減率
総 収 益	8,445,171,840	8,717,440,762	8,941,568,012	224,127,250	2.6
医 業 収 益	7,311,589,368	7,356,162,791	6,801,160,100	△555,002,691	△7.5
入 院 収 益	4,924,203,305	4,887,466,483	4,436,306,509	△451,159,974	△9.2
外 来 収 益	2,121,076,298	2,216,209,929	2,142,762,945	△73,446,984	△3.3
他 医 業 収 益	266,309,765	252,486,379	222,090,646	△30,395,733	△12.0
医 業 外 収 益	1,119,749,169	1,359,197,578	1,977,814,069	618,616,491	45.5
うち 他会計補助金	12,906,899	13,881,936	538,926,890	525,044,954	3,782.2
うち 負担金交付金	781,660,000	1,063,173,000	1,066,693,000	3,520,000	0.3
特 別 利 益	13,833,303	2,080,393	162,593,843	160,513,450	7,715.5
総 費 用	8,575,287,305	8,791,810,181	8,716,428,334	△75,381,847	△0.9
医 業 費 用	8,336,101,823	8,524,875,078	8,284,141,714	△240,733,364	△2.8
給 与 費	4,980,439,925	5,132,773,709	4,858,946,027	△273,827,682	△5.3
材 料 費	1,560,083,385	1,639,294,906	1,559,500,222	△79,794,684	△4.9
うち 薬 品 費	798,263,117	853,303,027	820,429,379	△32,873,648	△3.9
うち 診療材料費	695,218,672	721,933,947	681,674,417	△40,259,530	△5.6
経 費	1,242,391,224	1,251,407,761	1,276,587,984	25,180,223	2.0
減 価 償 却 費	457,995,233	401,207,261	520,122,373	118,915,112	29.6
資 産 減 耗 費	41,999,606	47,181,617	25,718,778	△21,462,839	△45.5
研 究 研 修 費	53,192,450	53,009,824	43,266,330	△9,743,494	△18.4
医 業 外 費 用	227,791,714	256,123,871	271,157,771	15,033,900	5.9
支 払 利 息 及 び 企 業 債 取 扱 諸 費	2,403,532	1,924,932	1,847,378	△77,554	△4.0
うち 企業債利息	2,403,532	1,924,932	1,847,378	△77,554	△4.0
特 別 損 失	11,393,768	10,811,232	161,128,849	150,317,617	1,390.4
医 業 損 益	△1,024,512,455	△1,168,712,287	△1,482,981,614	△314,269,327	26.9
経 常 損 益	△132,555,000	△65,638,580	223,674,684	289,313,264	△440.8
当 年 度 純 損 益	△130,115,465	△74,369,419	225,139,678	299,509,097	△402.7
前 年 度 繰 越 欠 損 金	7,806,260,292	7,936,375,757	8,010,745,176	74,369,419	0.9
当 年 度 未 処 理 欠 損 金	7,936,375,757	8,010,745,176	7,785,605,498	△225,139,678	△2.8
医 業 収 支 比 率	87.7	86.3	82.1	△4.2ポイント	-
総 収 支 比 率	98.5	99.2	102.6	3.4ポイント	-
給 与 費 比 率	68.1	69.8	71.4	1.6ポイント	-

(注) 1 医業損益＝医業収益－医業費用

2 経常損益＝医業損益＋医業外収益－医業外費用

3 純損益＝総収益－総費用

4 医業収支比率＝医業収益／医業費用×100

5 総収支比率＝総収益／総費用×100

6 給与費比率＝給与費／医業収益×100

河北病院の決算状況推移

(単位：円、%)

区 分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年度 増減額	対前年度 増減率
総 収 益	3,702,439,810	3,376,112,559	3,294,964,820	△81,147,739	△2.4
医 業 収 益	2,965,600,284	2,335,852,632	2,053,603,055	△282,249,577	△12.1
入 院 収 益	1,766,881,719	1,350,197,774	1,246,884,426	△103,313,348	△7.7
外 来 収 益	1,124,647,470	934,806,575	770,040,815	△164,765,760	△17.6
他 医 業 収 益	74,071,095	50,848,283	36,677,814	△14,170,469	△27.9
医 業 外 収 益	733,056,418	1,031,491,754	1,118,102,814	86,611,060	8.4
うち 他会計補助金	1,827,000	1,090,962	92,358,530	91,267,568	8,365.8
うち 負担金交付金	491,753,000	768,548,000	783,656,000	15,108,000	2.0
特 別 利 益	3,783,108	8,768,173	123,258,951	114,490,778	1,305.8
総 費 用	4,490,471,512	4,150,468,877	3,897,602,215	△252,866,662	△6.1
医 業 費 用	4,370,762,630	4,025,435,406	3,693,855,562	△331,579,844	△8.2
給 与 費	2,658,683,287	2,414,251,113	2,189,188,439	△225,062,674	△9.3
材 料 費	463,565,413	380,136,803	328,780,028	△51,356,775	△13.5
うち 薬 品 費	277,407,897	226,345,686	172,626,937	△53,718,749	△23.7
うち 診療材料費	183,758,956	151,593,347	154,746,507	3,153,160	2.1
経 費	817,367,116	764,346,649	766,686,029	2,339,380	0.3
減 価 償 却 費	345,042,424	424,735,015	388,106,504	△36,628,511	△8.6
資 産 減 耗 費	57,839,978	19,402,875	4,422,602	△14,980,273	△77.2
研 究 研 修 費	28,264,412	22,562,951	16,671,960	△5,890,991	△26.1
医 業 外 費 用	114,751,006	118,079,569	125,629,355	7,549,786	6.4
支 払 利 息 及 び 企 業 債 取 扱 諸 費	2,980,988	3,208,462	2,687,568	△520,894	△16.2
うち 企業債利息	2,980,988	3,208,462	2,687,568	△520,894	△16.2
特 別 損 失	4,957,876	6,953,902	78,117,298	71,163,396	1,023.4
医 業 損 益	△1,405,162,346	△1,689,582,774	△1,640,252,507	49,330,267	△2.9
経 常 損 益	△786,856,934	△776,170,589	△647,779,048	128,391,541	△16.5
当 年 度 純 損 益	△788,031,702	△774,356,318	△602,637,395	171,718,923	△22.2
前 年 度 繰 越 欠 損 金	11,344,582,745	12,132,614,447	12,906,970,765	774,356,318	6.4
当 年 度 未 処 理 欠 損 金	12,132,614,447	12,906,970,765	13,509,608,160	602,637,395	4.7
医 業 収 支 比 率	67.9	58.0	55.6	△2.4ポイント	-
総 収 支 比 率	82.5	81.3	84.5	3.2ポイント	-
給 与 費 比 率	89.7	103.4	106.6	3.2ポイント	-

(注) 1 医業損益＝医業収益－医業費用

2 経常損益＝医業損益＋医業外収益－医業外費用

3 純損益＝総収益－総費用

4 医業収支比率＝医業収益／医業費用×100

5 総収支比率＝総収益／総費用×100

6 給与費比率＝給与費／医業収益×100

こころの医療センターの決算状況推移

(単位：円、%)

区 分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年度 増減額	対前年度 増減率
総 収 益	3,070,899,911	3,108,200,396	3,191,124,465	82,924,069	2.7
医 業 収 益	2,025,190,951	2,008,962,096	2,039,685,850	30,723,754	1.5
入 院 収 益	1,706,286,516	1,683,538,685	1,751,768,300	68,229,615	4.1
外 来 収 益	306,212,438	312,436,266	275,674,073	△36,762,193	△11.8
他 医 業 収 益	12,691,997	12,987,145	12,243,477	△743,668	△5.7
医 業 外 収 益	1,040,319,643	1,093,513,708	1,132,856,473	39,342,765	3.6
うち 他会計補助金	11,085,396	12,790,632	63,756,072	50,965,440	398.5
うち 負担金交付金	824,729,000	879,067,000	857,328,000	△21,739,000	△2.5
特 別 利 益	5,389,317	5,724,592	18,582,142	12,857,550	224.6
総 費 用	3,094,422,698	3,104,265,455	3,181,965,159	77,699,704	2.5
医 業 費 用	2,980,025,833	2,989,129,061	3,047,675,490	58,546,429	2.0
給 与 費	2,243,583,736	2,237,696,061	2,296,424,904	58,728,843	2.6
材 料 費	190,750,912	203,310,326	202,262,780	△1,047,546	△0.5
うち 薬 品 費	121,230,002	131,202,955	124,985,573	△6,217,382	△4.7
うち 診療材料費	16,428,494	17,194,123	22,623,331	5,429,208	31.6
経 費	232,365,538	237,183,157	248,467,992	11,284,835	4.8
減 価 償 却 費	290,539,859	288,408,520	284,382,180	△4,026,340	△1.4
資 産 減 耗 費	235,265	295,502	867,903	572,401	193.7
研 究 研 修 費	22,550,523	22,235,495	15,269,731	△6,965,764	△31.3
医 業 外 費 用	109,280,430	111,953,897	114,613,607	2,659,710	2.4
支 払 利 息 及 び 企 業 債 取 扱 諸 費	54,023,217	52,145,152	50,380,458	△1,764,694	△3.4
うち 企業債利息	54,023,217	52,145,152	50,380,458	△1,764,694	△3.4
特 別 損 失	5,116,435	3,182,497	19,676,062	16,493,565	518.3
医 業 損 益	△954,834,882	△980,166,965	△1,007,989,640	△27,822,675	2.8
経 常 損 益	△23,795,669	1,392,846	10,253,226	8,860,380	636.1
当 年 度 純 損 益	△23,522,787	3,934,941	9,159,306	5,224,365	132.8
前 年 度 繰 越 欠 損 金	2,776,850,487	2,800,373,274	2,796,438,333	△3,934,941	△0.1
当 年 度 未 処 理 欠 損 金	2,800,373,274	2,796,438,333	2,787,279,027	△9,159,306	△0.3
医 業 収 支 比 率	68.0	67.2	66.9	△0.3ポイント	-
総 収 支 比 率	99.2	100.1	100.3	0.2ポイント	-
給 与 費 比 率	110.8	111.4	112.6	1.2ポイント	-

(注) 1 医業損益＝医業収益－医業費用

2 経常損益＝医業損益＋医業外収益－医業外費用

3 純損益＝総収益－総費用

4 医業収支比率＝医業収益／医業費用×100

5 総収支比率＝総収益／総費用×100

6 給与費比率＝給与費／医業収益×100

本局の決算状況推移

(単位：円、%)

区 分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年度 増減額	対前年度 増減率
総 収 益	31,639,419	237,549,764	29,938,205	△207,611,559	△87.4
医 業 収 益	-	-	-	-	-
入 院 収 益	-	-	-	-	-
外 来 収 益	-	-	-	-	-
他 医 業 収 益	-	-	-	-	-
医 業 外 収 益	31,297,274	237,549,764	18,618,698	△218,931,066	△92.2
うち 他会計補助金	-	133,944,000	-	△133,944,000	皆減
うち 負担金交付金	27,913,000	102,233,000	18,014,000	△84,219,000	△82.4
特 別 利 益	342,145	-	11,319,507	11,319,507	皆増
総 費 用	288,714,900	296,980,994	306,760,607	9,779,613	3.3
医 業 費 用	284,293,739	288,286,190	298,492,614	10,206,424	3.5
給 与 費	235,217,342	253,115,273	260,049,143	6,933,870	2.7
材 料 費	-	-	3,318,550	3,318,550	皆増
うち 薬 品 費	-	-	-	-	-
うち 診療材料費	-	-	3,318,550	3,318,550	皆増
経 費	43,526,477	34,102,360	33,834,326	△268,034	△0.8
減 価 償 却 費	3,895,535	-	-	-	-
資 産 減 耗 費	-	-	424,215	424,215	皆増
研 究 研 修 費	1,654,385	1,068,557	866,380	△202,177	△18.9
医 業 外 費 用	4,421,161	8,623,679	4,522,830	△4,100,849	△47.6
支 払 利 息 及 び 企 業 債 取 扱 諸 費	359,966	338,827	298,028	△40,799	△12.0
うち 企業債利息	9,501	-	-	-	-
特 別 損 失	-	71,125	3,745,163	3,674,038	5,166
医 業 損 益	△284,293,739	△288,286,190	△298,492,614	△10,206,424	3.5
経 常 損 益	△257,417,626	△59,360,105	△284,396,746	△225,036,641	379.1
当 年 度 純 損 益	△257,075,481	△59,431,230	△276,822,402	△217,391,172	365.8
前 年 度 繰 越 欠 損 金	3,206,760,034	3,463,835,515	3,523,266,745	59,431,230	1.7
当 年 度 未 処 理 欠 損 金	3,463,835,515	3,523,266,745	3,800,089,147	276,822,402	7.9
医 業 収 支 比 率	-	-	-	-	-
総 収 支 比 率	11.0	80.0	9.8	△70.2ポイント	-
給 与 費 比 率	-	-	-	-	-

(注) 1 医業損益＝医業収益－医業費用

2 経常損益＝医業損益＋医業外収益－医業外費用

3 純損益＝総収益－総費用

4 医業収支比率＝医業収益／医業費用×100

5 総収支比率＝総収益／総費用×100

6 給与費比率＝給与費／医業収益×100

7 過年度医業未収金残高の年度別推移

(単位：円)

区 分		中央病院	新庄病院	河北病院	こころの 医療センター	合 計
平成 28 年度	未収金残高	191,785,118	130,598,080	32,529,377	22,166,691	377,079,266
	医業収益	17,988,426,581	7,184,425,530	3,105,955,265	1,888,607,266	30,167,414,642
	未収金残高比	1.07%	1.82%	1.05%	1.17%	1.25%
	指 数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
平成 29 年度	未収金残高	178,981,709	134,863,500	31,038,702	20,141,861	365,025,772
	医業収益	19,073,306,333	7,274,656,249	3,137,794,454	1,916,026,065	31,401,783,101
	未収金残高比	0.94%	1.85%	0.99%	1.05%	1.16%
	対前年度比	93.3%	103.3%	95.4%	90.9%	96.8%
	指 数	93.3	103.3	95.4	90.9	96.8
平成 30 年度	未収金残高	159,574,409	134,114,890	31,493,842	15,867,801	341,050,942
	医業収益	18,924,403,200	7,311,589,368	2,965,600,284	2,025,190,951	31,226,783,803
	未収金残高比	0.84%	1.83%	1.06%	0.78%	1.09%
	対前年度比	89.2%	99.4%	101.5%	78.8%	93.4%
	指 数	83.2	102.7	96.8	71.6	90.4
令和 元 年度	未収金残高	150,518,814	131,756,787	31,166,267	16,966,896	330,408,764
	医業収益	19,788,240,253	7,356,162,791	2,335,852,632	2,008,962,096	31,489,217,772
	未収金残高比	0.76%	1.79%	1.33%	0.84%	1.05%
	対前年度比	94.3%	98.2%	99.0%	106.9%	96.9%
	指 数	78.5	100.9	95.8	76.5	87.6
令和 2 年度	未収金残高	128,586,935	134,949,440	31,079,123	17,460,901	312,076,399
	医業収益	17,535,445,730	6,801,160,100	2,053,603,055	2,039,685,850	28,429,894,735
	未収金残高比	0.73%	1.98%	1.51%	0.86%	1.10%
	対前年度比	85.4%	102.4%	99.7%	102.9%	94.5%
	指 数	67.0	103.3	95.5	78.8	82.8

(注) 1 医業収益は、当該年度の医業収益である。

2 未収金残高比は、当該年度の医業収益に対する未収金残高の比率である。

3 対前年度比は、前年度未収金残高に対する比率である。

4 指数は、平成28年度を100としたものである。